

笠間市消防団のあり方に関する検討委員会の中間報告

1. はじめに

笠間市消防団は、市町合併後10年を迎えて、少子化の影響で新たに団員として入団する若年層が減少するなか、条例定数822名、実員数749名、46個分団で消防団活動を行っています。団員の確保や詰所の老朽化、車両等装備の充実などの課題解決に向けて、将来を見据えた効率的な組織体制を確立するため、笠間市消防団のあり方に関する検討委員会で検討を重ねてきました。

ここに、中間報告という形で、これまでの検討内容と方向性について、市民の皆様にお知らせします。

委員内訳：27名
学識経験者1名、区長会6名、消防後援会6名、笠間市消防団長1名、副団長2名、本部員3名、分団長6名、市総務部長、消防長

2. 経過及び協議概要

(1) 第1回笠間市消防団のあり方に関する検討委員会

日時：平成27年5月27日(水) 18時30分から

場所：消防本部3階多目的ホール

出席委員24名、欠席委員3名、傍聴者なし。

① 笠間市消防団の現状及び組織見直しについての意見概要

ア 人口減少、少子高齢化のなか消防団員の確保が次第に難しくなってきたおり、地域の安心・安全をどのように確保していくか検討を進める必要がある。

イ 就業の構造変化（農業・自営からサラリーマンへ大きくシフト）により昼間の活動団員確保が課題になってきている。

ウ 若年層の新入団員が少なくなっているため、団員の年齢層が次第に高くなってきているが、団員を確保するためには消防団OBや定年後の人材活用も必要ではないか。（分団長を辞めても、消防団に残ってもらう。）

エ 消防団の活動・関連行事が団員個人に負担となっていないか。

オ 分団の統合・再編も考える必要がある。

カ 詰所・車両の老朽化が進んできているため、計画的に整備・更新を行ない、消防団の組織のあり方と合わせて機能性を高めていく必要がある。

団員数の現状

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
団員現数	766 名	769 名	771 名	764 名	747 名
新入団数	47 名	52 名	62 名	45 名	44 名
退団者数	50 名	58 名	53 名	62 名	—

② その他

多くの意見を聞くため、アンケートを実施こととしました。対象者は平成 27 年度区長から無作為で 100 名(委員を含む)、平成 27 年度消防後援会長 34 名(委員を含む)、消防団本部員全員 12 名(委員を含む)、分団長全員 46 名(委員を含む)合計 192 名とし、分析が深められるよう、無記名ではなく、記名式で実施することとしました。

(2) 第 2 回笠間市消防団のあり方に関する検討委員会

日時：平成 27 年 6 月 24 日(水) 18 時 30 分から

場所：消防本部 3 階多目的ホール

出席委員 25 名、欠席委員 2 名、傍聴者 1 名

① 笠間市消防団に関するアンケート結果(速報)について

平成 27 年 6 月 4 日から 6 月 15 日にかけてアンケートを実施。未着分があったため、速報として報告しました。(速報時の回収率 61.5%)

② 笠間市消防団の今後のあり方についての意見概要

ア 消防団のあり方については、アンケートの結果等からも火災ばかりではなく大震災や水害対応等を考慮し、消防団は無くってはならない存在であり、改めて地域の安全安心に重要な役割を担っており、団員の確保は重要である。

イ 今後の社会情勢や団員の減少、消防車両や消防団詰所の老朽化等を考えると、統合はやむを得ないのではないか。統合の検討については、分団員の意見を吸い上げて案を作っていく必要がある。

ウ 統合にあたっては消防署、消防団の役割分担の違いや地区特有の事情や地形を考慮の上、検討材料として大卒の資料を用意し、各分団で検討してもらい、その検討結果を次回のあり方検討委員会で協議する。

(3) 第3回笠間市消防団のあり方に関する検討委員会

日時：平成27年8月19日(水) 18時30分から

場所：消防本部3階多目的ホール

出席委員25名、欠席委員2名、傍聴者1名

① 笠間市消防団に関するアンケート結果(最終)について
(最終時の回収率81.3%)

② 笠間市消防団の統合(案)について

あり方検討委員会で、統合については各地区分団で協議した結果を基に検討すべきとの意見が出され、各地区分団において協議をしました。

月日	会議内容
7/2	消防団本部会議
7/13	笠間地区分団長会議
7/14	友部地区分団長会議
7/17	岩間地区分団長会議
7/24	消防団本部会議
7/29	消防団分団長会議
8/10	友部地区分団長会議

③ 笠間市消防団の今後のあり方についての意見概要

ア 笠間市消防団のあり方に関する検討委員会の統合意見等を基に笠間市消防団審議会に提案していくこととなるが、施設整備計画を立てていく中で機動性を高めたり、統合対象外の分団でも古くなっている車両や詰所が出てくるので、それらも考慮して欲しい。

イ 運転免許証がAT限定の団員の調査を行ない、AT限定団員数を把握しながら車両更新が出来ない場合は、限定解除費用の負担や車両更新時はAT車両の導入を希望する。

ウ 統合の実施時期については、笠間市消防団のあり方に関する検討委員会での答申を基に、消防団審議会にかけて結論が出れば、来年度から地元説明会を実施し2~3年後を目安に理解を求めていくことが、望ましい。

エ アンケートを見ると統合に反対の方もいるので、その様な方々も安心できるよう配慮してほしい。

3 今後の予定

9月下旬から10月上旬にかけ、第4回目の笠間市消防団のあり方に関する検討委員会を開催予定です。